

# 報 道 配 布 資 料

平成 25 年(2013 年) 6 月 13 日

所 属 名	所属長名	部局長名	担当者職・氏名	連 絡 先
山口県立大学	学 長 えさと けんすけ 江里 健輔	副学長 (教育研究推進室長) ながさか ゆうじ 長坂 祐二	大学院健康福祉学 研究科長 たなか まきこ 田中 マキ子	083-933-1464 (田中研究室)
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩、首都圏			

## 1 件 名

韓国・聞慶（ムンギョン）市との国際共同研究にかかわる協約の締結について

## 2 趣 旨

本学は、大学院健康福祉学研究科を中心に、韓国・慶北大学校、米国・ハワイ大学と共同し、アジア・太平洋地域における百歳予備群（70～99 歳）の健康生活をテーマとした国際共同研究に取り組んでいる。

このたび、研究活動の一環として、住民を対象とした聞き取り調査等を円滑に実施するため、韓国・聞慶市との間で研究活動にかかわる協約を締結した。

研究活動において、本学が海外の自治体と協約を締結するのは今回が初めてとなる。

○合意した主な協力内容は以下のとおり

- (1) 調査対象者の抽出、回答支援、調査票の回収・保管
- (2) 調査票の分析と、その成果の共有

## 3 締結日と出席者について

- (1) 締結日 平成 25 年 6 月 7 日 韓国・聞慶市役所  
※締結時の写真データは本学から提供可能です。

- (2) 出席者

- ①本 学 長坂祐二・副学長、田中マキ子・健康福祉学研究科長、金恵媛・国際文化学部教授
- ②聞慶市 高潤煥（コ・ユンファン）・聞慶市長

## 4 問合せ先

健康福祉学研究科長（教授） 田中 マキ子

電 話：083-933-1464（研究室直通）メール：maki@n.ypu.jp

※写真データの提供については教育研究推進室（電話 083-928-3437、担当：香川）にお問い合わせください。

## 5 別 添

協約書の写し（裏面参照）

## 日本国山口県立大学と韓国聞慶市との 健康長寿高齢者国際共同研究協約書

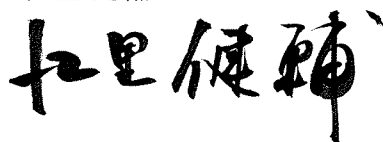
日本国山口県立大学と韓国聞慶市は、アジア・太平洋地域における百歳予備群（70～99歳）に対する健康生活実態調査を実施し、国際間比較を通じて健康長寿の要因を解明することにより、高齢者の健康福祉に係わる課題の解決策を見出し、提言することを目的として、以下の覚書を交わす。

1. 両国の国際共同研究の概要は、次のとおりである。
  - 1) 研究機関は、山口県立大学大学院、慶北大学校医学専門大学院、ハワイ大学とする。
  - 2) 各研究地域の調査対象者数は300名であり、70歳代100名、80歳代100名、90歳代100名とする。
  - 3) 調査方法は、質問紙及びインタビュー調査とする。
  - 4) 調査内容は、基本事項、居住形態、健康状態（疾病、ADL, IADL）、社会サービス利用状況、満足度、社会交流、QOL項目等とする。
  - 5) 質問紙調査(韓国)は、聞慶市が実施する。
  - 6) インタビュー調査(韓国)は、聞慶市において、山口県立大学大学院教授が実施する。
  - 7) 調査倫理の対応は、山口県立大学生命倫理委員会の承認及び聞慶市保健所長の同意を得る。
2. 両機関は、以下について合意する。
  - 1) 聞慶市は、対象者抽出、調査員の介入による調査回答者支援、調査票の回収・保管を行う。
  - 2) 山口県立大学は、調査票の準備、調査票の入力・分析を行う。
  - 3) 調査結果は、山口県立大学と聞慶市とで共有する。
3. 本協約書は、その署名の日からその効力を生じるものとする。

2013年6月7日

日本国 山口県立大学

学長 江里健輔



韓国 聞慶市

市長 高潤煥

